

民間資金等活用事業推進機構の取組と支援内容



2020年11月

1. 会社概要

名称	株式会社 民間資金等活用事業推進機構（略称：PFI推進機構） Private Finance Initiative Promotion Corporation of Japan
設立	平成25年10月7日
根拠法	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）
背景	国及び地方公共団体の厳しい財政状況を踏まえつつ、経済成長の促進に寄与する観点から、公共事業等の整備等に民間の資金、経営能力及び技術力の活用が一層重要となっていること
機構設立の目的	独立採算型等PFI事業の普及・推進 ● 案件形成支援（事業実施に必要な知識及び情報の提供等） ● 金融及び民間投資を補完するための資金の供給
業務の終了	設立後15年間（令和10年3月末）を以て業務を終了
本店所在地	東京都千代田区大手町1丁目6番1号 大手町ビル8F
資本金	100億円（出資金額：政府100億円、民間70社100億円）

2. PFIの事業類型と支援対象範囲

<サービス購入型>

民間事業者が公共施設を整備・運営し、公共が利用者に代わって事業者に対価を支払うことによって、民間事業者は事業費を回収するスキーム



<独立採算型>

民間事業者が公共施設を整備・運営し、民間事業者が施設の利用者から徴収する料金収入によって、事業費を回収するスキーム



<混合型>

上記サービス購入型と独立採算型を組み合わせたスキームで、公共及び利用者双方から支払いあり



機構の支援対象範囲

3. 機構の支援事例

(1) 函南「道の駅・川の駅」PFI事業

事業概要	「道の駅」として休憩・飲食・物産販売施設や情報発信施設、防災施設等を整備すると併せて、隣接地に国と町の共同事業によって整備される「川の駅」と「道の駅」を結ぶ「展望歩道橋」を設置することで、「道の駅」と「川の駅」を連携させ、広域防災拠点としての機能強化を図る事業。	
公共施設等管理者	函南町(静岡県)	施設イメージ  <p>(出所) 伊豆ゲートウェイ函南HP</p> <p>【敷地面積】約 13,280 m²(町有地)、約 8,700 m²(町が占用する国有地、堤防天端道路を含まない)</p> <p>【施設概要】交通安全機能施設(道路休憩・交通管理センター)、広域情報発信機能施設、地域活性化機能施設(物産販売所、観光案内所、飲食店、イベント広場)、展望歩道橋、コンビニエンスストア等</p>
事業方式	BTO方式・混合型	
事業期間	約17年 (建設期間：2015.11～2017.4 運営期間：2017.5～2032.1)	
事業規模	落札金額：約2,358百万円(税込)	
民間事業者	SPC：いずもんかんなみパートナーズ(株) 代表企業：加和太建設(株)	
スケジュール	実施方針公表 2014.8 入札公告 2014.11 落札者決定 2015.3 事業契約締結 2015.11	
特徴等	<ul style="list-style-type: none">「道の駅」の整備・運営に独立採算事業(物産販売所、飲食施設の運営等)を組み入れて行う混合型PFI事業。観光バスの積極的な誘客、地域の特色を生かした飲食・物販等の提供、町内主要施設への観光客の誘導などが重要な評価項目として設定されるだけでなく、地元企業の活用や地元雇用、地域活性化に寄与する具体的な提案を求めた。隣接する三島市に本社を置く企業が代表企業で、物販事業にも地元事業者が参加する地元密着型の運営。	

3. 機構の支援事例

(2) 袋井市総合体育館整備及び運営事業

事業概要	本事業は、老朽化が進み耐震性も十分ではない現在の市民体育館を建替え、市内スポーツの拠点施設として総合体育館を整備するもの。新しい総合体育館は、スポーツに関する市民の多様なニーズに応えるとともに、大規模災害発生時には、市の防災拠点施設や指定避難所としても使用される。	
公共施設等管理者	袋井市(静岡県)	施設イメージ
事業方式	BTO方式・混合型	
事業期間	約18年 (建設期間：2017.2～2020.3、 運営期間：2020.4～2035.3)	
事業規模	落札金額：約5,692百万円(税抜)	
民間事業者	SPC：袋井アリーナPFI(株) 代表企業：大和リース(株)	
スケジュール	実施方針公表 2016.1 入札公告 2016.6 事業者決定 2016.12 事業契約締結 2017.2	
特徴等	<ul style="list-style-type: none">市民が生活の中にスポーツを定着させることで、スポーツへの関わりを深め、幅広く市民の健康増進、健康意識の向上の役割を担うことができる施設とするため、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、親しみ、楽しむことのできるスポーツ文化の推進」を基本コンセプトとした。地元企業とネーミングライツパートナー契約を締結し、地域住民が親しみを感じる施設とした。	



(出所) 袋井市HP

【延床面積】7,593㎡(鉄筋コンクリート造、地上2階建て)
【施設概要】アリーナエリア(メイン・サブアリーナ、武道場)、トレーニングエリア(トレーニング室)、コミュニティエリア(キッズルーム、会議室)、屋外ウォーキングスペース、カフェ等

3. 機構の支援事例

(3) 鳥取県水力発電所再整備・運営等事業

事業概要	<p>本事業は、運用開始後半世紀以上経過した4発電所(小鹿第一、小鹿第二、春米、日野川第一)の発電施設について、施設改修及びその後の効率的な運営維持を民間事業者が行う事業。 民間事業者が有するノウハウや創意工夫を全面的に活用することにより、発電施設の長寿命化、民間への市場開放に伴う地域経済の活性化、県利益の最大化を図ることを目的とします。</p>	
公共施設等管理者	鳥取県	施設イメージ
事業方式	BT方式・サービス購入型、 コンセッション方式・独立採算型	
事業期間	約24年(最大約50年(合意延長あり)) ・春米： 2020.9 ～ 2040.8 ・小鹿第一： 2024.2 ～ 2044.1 ・小鹿第二： 2023.9 ～ 2043.8 ・日野川第一： 2024.12 ～ 2044.11	
事業規模	運営権対価：約30,280百万円(税抜) (一括金：約17,297百万円、分割金：約12,983百万円)	
民間事業者	SPC： M&C鳥取水力発電(株) 代表企業： 三峰川電力(株)	
スケジュール	実施方針公表 2019.1 募集要項公表 2019.3 優先交渉権者決定 2020.3 事業契約締結 2020.7	【施設概要】①小鹿第一発電所(左上)、②小鹿第二発電所(右上)、 ③春米発電所(左下)、日野川第一発電所(右下) 【最大出力】①3,600kw、②5,200kw、③7,900kw、④4,300kw
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> 公営水力発電分野へのコンセッション方式導入の第1号案件。 BT(Build Transfer)方式による水力発電所の再整備業務と、コンセッション方式による水力発電所の維持管理運営業務を一体化して実施する事業方式を採用。 発電所再整備費用を運営権対価で、維持管理運営費用をFIT制度による売電収入で全額賄うことにより、実質、県の財政負担なしで事業化。 	



(出所) 鳥取県HP

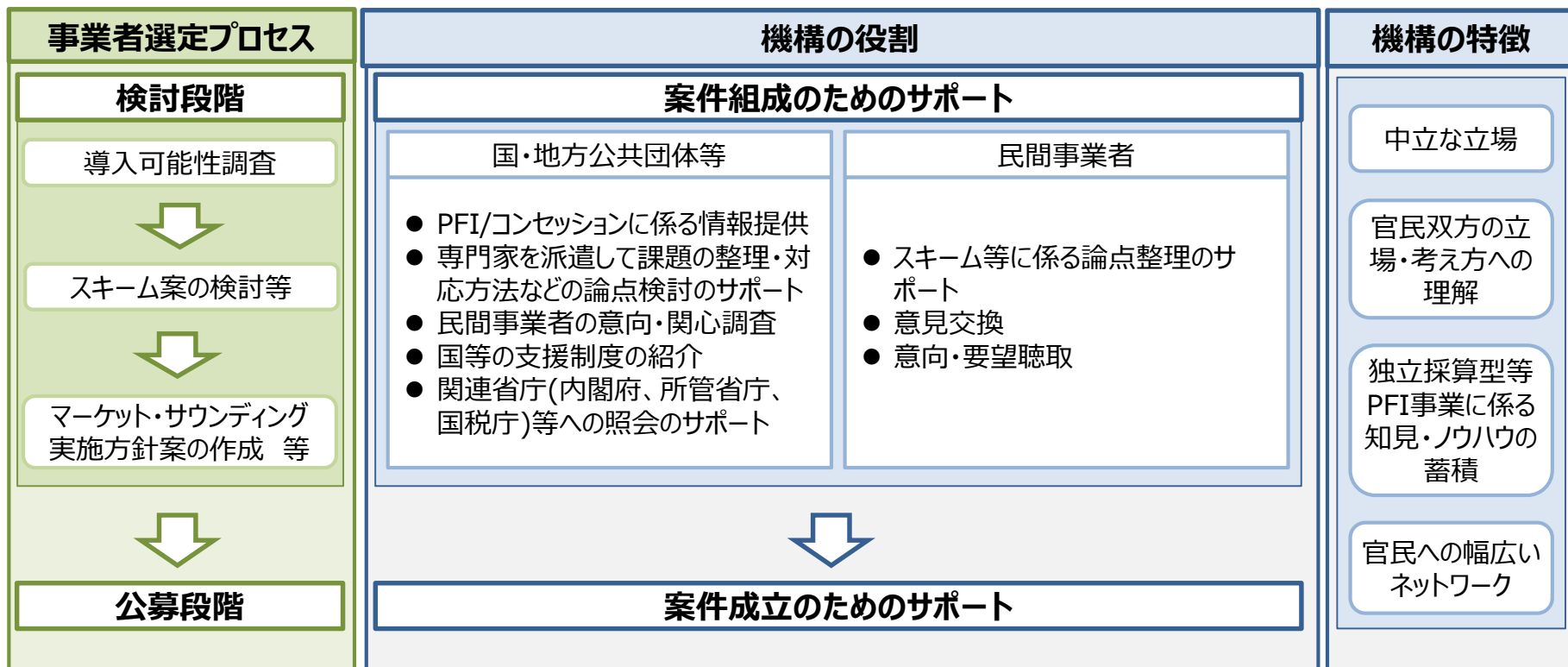
3. 機構の支援事例

(4) 中央公園整備及び管理運営事業（佐世保市）

事業概要	本事業は、老朽化した中央公園のうち、「名切地区まちづくり構想」における「交流・文化ゾーン」及び「自然リクリエーションゾーン」の一部を対象としてリニューアルを行い、「佐世保を象徴する場所としての『憩い』と『交流』を創出する拠点づくり」の実現を目的とする事業。	
公共施設等管理者	佐世保市(長崎県)	施設イメージ 
事業方式	公募設置管理制度(Park-PFI)、BTO方式・サービス購入型	
事業期間	約20年(建設期間：2020.4～2022.3 運営期間：2022.4～2040.3)	
事業規模	契約金額：約1,326百万円(税込)	
民間事業者	SPC：庭建パークマネジメント(株) 代表企業：(株)庭建	
スケジュール	実施方針公表 2019.1 (2019.4修正) 募集要項公表 2019.7 (2019.8修正) 優先交渉権者決定 2019.12 事業契約締結 締結済(時期は非公表)	
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> 佐世保市初のPFI事業。 改正都市公園法で創設された公募設置管理制度(Park-PFI)とPFI手法を併用する第1号案件。 	

(出所) 佐世保市HP

4. 機構によるPFI/コンセッション推進の取組み



お問い合わせ先

株式会社 民間資金等活用事業推進機構

住 所：東京都千代田区大手町一丁目6番1号 大手町ビル8階

電話(代表)：03-6256-0071

e-mail：info@pfipcj.co.jp

URL：http://www.pfipcj.co.jp

5. 当社からのお知らせ PFI関連書籍のご紹介

「自治体担当者のためのPFI実践ガイドブック」

本書は、初めてPFIを担当する自治体職員の方を主な読者層として想定して、ガイドライン等の最新情報に対応し、PFIの基礎知識から実務上のポイントまで丁寧に解説する内容となっています。

本書の構成としては、PFIの基本的な説明から13分野43案件の事業分野別PFI導入事例、PFI手法導入検討の具体的な進め方を取り上げています。

初めてPFIに携わる自治体の担当者の方から、地域金融機関において案件検討を行う担当者の方まで、PFIに関わる多くの方にとっておすすめの一冊となっています。

<出版の概要>

出版社： 中央経済社

発売日： 2019年8月

本体価格：税抜2,700円（税込2,970円）

「PFIのファイナンス実務」

本書は、PFI事業におけるファイナンスをテーマに、PFI手法やプロジェクト・ファイナンスの基礎から丁寧に解説し、はじめてPFI事業に取り組む担当者にも理解しやすい内容となっています。

本書の構成としては、PFI事業の資金の流れ、ファイナンスの特徴を踏まえ、一般的なPFI案件とセッション案件におけるファイナンス実務を数値モデルを使用して、分かりやすく解説しています。

地域金融機関においてPFIの案件検討を行う担当者の方から、PFI事業への参画を検討する民間事業者の担当者の方まで、PFIに関わる多くの方にとっておすすめの一冊となっています。

<出版の概要>

出版社： 中央経済社

発売日： 2020年9月

本体価格：税抜2,800円（税込3,080円）

